



7・8月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

夜空に美しい天の川のかかる季節となりました。

令和2年7月1日

6月より通常通りの保育が始まりました。6月と言いましても、子どもたちにとりましては、4月の進級・入園当初の状況と察し手厚く対応して参りました。特に、緊急事態宣言中の自粛生活は、子どもたちの心身にも何らかの影響があったかと思います。泣いてくるお子さん、お友だちとうまく関われないでいるお子さん等々。それでも、ほとんどのお子さんは、こども園の生活が楽しくて、元気にお外で遊んだり、お友だちとのふれあいを十分に満喫しております。休園中、経験できなかった時間を取り戻すかのように、子どもたちは何事にも生き生きと瞳を輝かせて、トマトを育てたり、虫探しをしたり、泥んこになって外遊び、プール、お制作など、楽しい時間を過ごしています。先日、今年度初めての役員会を行いました。今後の活動としましては、特に年長組はこども園生活最後の年ですので、できる限りの行事を何らかの形で行ってあげたい、思いを共有し合いました。夏まつりは年長組だけ行う予定ですが、他の学年の子どもたちとは、さくら組さんが作ったおみこしを担いだり、出店で美味しいおやつを食べたり、くじ引きをして景品を当てたり、盆踊りやゲームなど、子どもたちだけで“夏まつりごっこ”を楽しむ予定です。地域での活動も自粛傾向にあり、「新型コロナウイルス感染症流行のため経験できなかった…」ということができるだけないように、保育内で工夫して、これまでと変わらない貴重な体験をして参りたいと思います。

さて、7月7日は『七夕』です。七夕まつりは日本の伝統行事の一つです。昔の人は、「文字が上手に書けますように」「お裁縫が上達しますように」などと技術・技能の向上を願って短冊を書きました。また、「豊作でありますように！」とナスやキュウリ、スイカの笹飾りをしたそうです。七夕飾りは「〇〇が欲しい」と欲しい物を書くのではなく、「野球選手になれますように」「サッカーが上手になりますように」「ピアノが上手に弾けるようになりますように」「パティシエになりたい」など憧れや夢などの願い事を書くことを伝え笹飾りをし、日本の良き伝統を伝えて参ります。

また、25日より1号のお子さんは夏休みとなります。暑さ対策は勿論のこと、引き続き感染症拡大予防対策に心がけ、「早寝・早起き・朝ごはん」で規則正しく、お元気にお過ごしください。2・3号のお子さんは、引き続きお預かりになります。特に、夏は疲れやすくなりますので、お仕事がお休みの時や早いお帰りの時などは、お休みをされても、早くお迎えに来ていただいても結構です。どちらにしましても、今、この一番可愛らしい人格形成の大切な時期、親子のふれあいの時間を大切にお過ごしください。